

ひがしっ子のきまり

1年間の学校生活のきまりのもとになっていますので、目の届くところにはっておいてください。

わからないことや困ったことがあれば
学校までご連絡ください。

TEL 7 2 — 3 2 3 4

1. 登下校

- 安全ぼうし(ゴムひもがついたもの)をかぶります。
 - 学校で決められている通学路を通ります。
 - 7時40分に玄関が開きます。8時10分からの朝の活動が始められるように登校します。
 - 交通ルールを守り、安全に気をつけましょう。
 - 知らない人にはぜったいについていきません。「いかのおすし」を守ります。(校外生活でも)
- ①かない。②らない。③おごえてさけぶ。④すにげる。(近くの家、こども110番の家) ⑤らせる。

2. 制服

- 学校指定の制服を着ます。制服には記名章を付けます。
- 制服のボタンをとめ、ポロシャツやブラウスはズボンに入れます。スカートのひもは肩にかけます。
- くつ下・タイツ・レギンスの色は、白・黒・紺・グレーの無地のものはきます。(ワンポイントは可) 寒いときはレギンスやタイツをはいてもよいです。
- 内ばきは白色の無地ズックをはきます。外ばきは運動に適したズックであれば色は問いません。
- ズックのかかとはふみません。くつひもはしっかり結びます



3. 体操服

- 学校指定の白のトレシャツ、青のハーフパンツ(寒いときなどは青ジャージの上下)を着ます。
- 白トレシャツはハーフパンツ(青ジャージ)に入れます。
- 体育の時は、赤白ぼうし(ゴムひもがついたもの)をかぶります。
- 体育の時は、くつ下をはきます。寒いときは青ジャージを着ましょう。
- 体操服は、毎週金曜日に持ち帰ります。夏場など汗をかいたときは、週の途中で持ち帰ることもあります。体操服が乾かないときは白のTシャツ(ワンポイント可)、運動に適した半ズボンやジャージでもよいです。

4. 髪の毛

- 肩にかかる長い髪は結びます。前髪が長い人はピンやクリップでとめます。
- ゴムやピンは、黒・紺・茶の無地のものをつけます。カラフルなもの、大きな飾りがついたもの、シュシュは禁止です。
- 髪はお家で結んできましょう。(プールや運動の後などはのぞく)

5. 持ち物

- 持ち物には名前を書きます。学習に必要なものは持ってきません。
- 次の持ち物は毎日持ってきます。



①ふでばこ (シンプルなもの。缶ペンケースやぬいぐるみのようなもの×)

中身…けずったえんぴつ5本 (シャープペンシルは×)

赤えんぴつ (4年生以上は赤ペンでも可)

メモリの読みやすいプラスチックの透明なじょうぎ (折りたたみ×)

よく消える四角くて白い消しゴム (においつき×かわった形×)

名前ペン (油性)

②下じき (無地のもの)

③連絡帳

④連絡ぶくろ

⑤ハンカチ

⑥ポケットティッシュ

制服のポケットに入れておきます。

コンパス、分度器、彫刻刀など、授業で使うものは、担任から連絡があるまで買わないでください。

- 道具ぶくろの中には、ハサミとのりをかならず入れます。
- ランドセルやふでばこにキーホルダーなどはつけません。(お守りは可)
- ミサンガはつけません。
- リップクリーム・ハンドクリーム・日焼け止め (色やにおいがいいもの) を持ってくるときは、授業中は使いません。
- 携帯電話・スマートフォンは原則持ってきません。どうしても必要なときは、持ち込み許可申請を出し、登校後に職員室に預けます。
- ペットボトルでお茶を持ってくるときは、かならずカバーをつけます。

6. 校外生活

- 出かけるときは、家の人に「行き先・だれと行くか・何時に帰るか」をはっきり伝えます。
- 交通ルールをしっかり守り、自転車に乗るときは、ヘルメットをかぶります。
- 危険なところには近づきません。(大聖寺川・池・用水など水のある場所、空き家、空き地など)
- 釣りに行くときは必ず大人と行きます。子どもだけでは行きません。
- 火遊び、危険な遊び (ビービー銃、ばくちくなど) は絶対にしません。
- 子どもだけで、ゲームセンター、ゲームコーナーなどには入りません。
- 子どもだけで、お店、スーパーマーケット、コンビニエンスストアなどには出入りしません。
- ひとの家の物やお店の物に勝手にさわれません。
- お金や物 (カード、ゲームなど) の貸し借り、おごったりおごられたりはしません。
- スマートフォン・タブレット・パソコン・ゲーム機などは、マナーを守って使います。